

## 多数学校のJET

第9ブロック代表 キャロライン・アイデアス  
第4ブロック代表 ルサー・フラグスタッド  
会計 ケイト・アリソン  
ウェブマスター マーティン・ナッシュ

### 序論

ここ数年間、ALT の役割が変わってきて、以前より多くの学校に行くようになりました。一年に5・10・20校以上で教えるALT が誕生しました。この報告は彼らがどんな働きをするか、そしてどんな困難にあうかを調査することとその結果をいかしてCLAIRとMEXTに我々の考えたことを提案することが目的です。

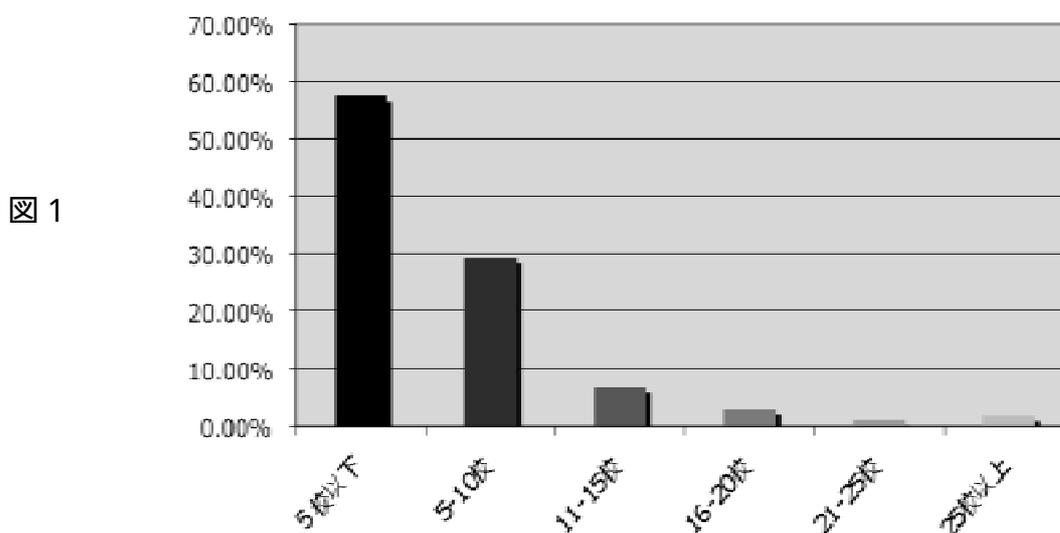
### 方法

本報告の情報を2009年4月に実施したインターネット上のアンケートで集めました。41県の272名が答えてくれました。回答者のほぼ半分は1年目のALTです。アンケートは多項選択、自由回答、リスト方式をあわせたものです。アンケート配布方法はEメール・ソーシャルネットワークサイトFacebook・AJET.net・各県支部AJETホームページ・口コミを含みました。

### データ

#### 学校訪問

一年間に何校で教えますか？



回答者の57%は5校以下、29%は5-10校、6%は11-15校、3%は16-20校、2%は25校以上訪問します。69%は中学校、68%は小学校で教えます。48%は月に2-4回、16%は月に5-10回各学校を訪問していることが分かりました。

### 契約時間外の活動

1週間に契約時間以外に何時間学校にいますか？

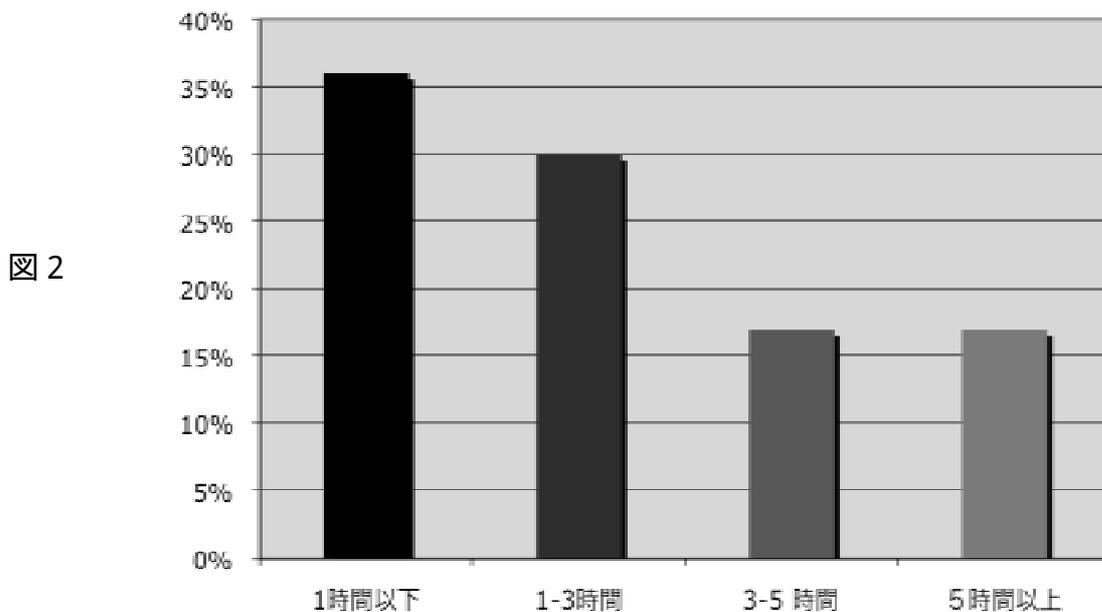


図 2

契約時間外の活動：回答者の36%は1時間以下、30%は1-3時間、17%は3-5時間、17%は5時間以上学校に残ります。理由を以下のディスカッションにて説明します。

### 契約時間内の活動

授業以外の契約時間をどう過ごすかとの質問に対し、回答者の80%は職員の方々と談笑、65%は児童・生徒と談笑、50%は児童・生徒と一緒に給食、43%は日本語の勉強と授業準備を含む「その他」と答えました。45%は特別計画（英語掲示板、新聞など）、24%は英語以外の授業に参加していることが分かりました。

### 地域との関わり

地域でのプロジェクトやイベント、活動などを企画するかとの質問に対し、77%は「しない」、残りの23%は「する」と答えました。

学校・地域でのプロジェクトの妨げとなるのは何ですか？

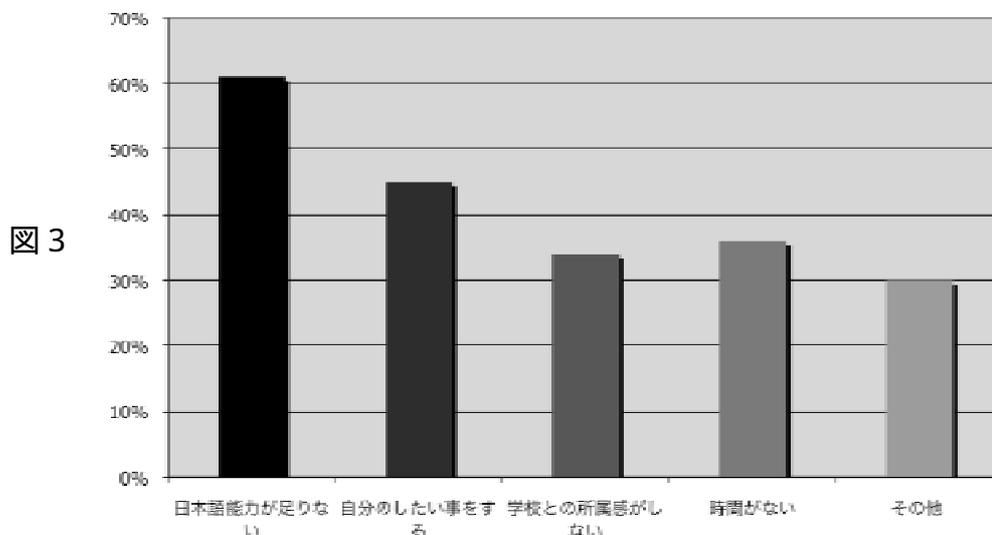


図 3

### 仕事のやりがい・満足度

50%は多数の学校を訪問する事が「好き」、29%は「まあまあ」、21%は「好きじゃない」と回答しました。81%はたくさんの生徒にあえるのが好き、64%はたくさんの職員にあえるのが好き、58%は色々なレベルで教えるのが好き、49%はレスンプランと教材を再使用出来るのが好き、19%は「その他」と答えました。

多数学校で教える仕事のどこが難しいですか？

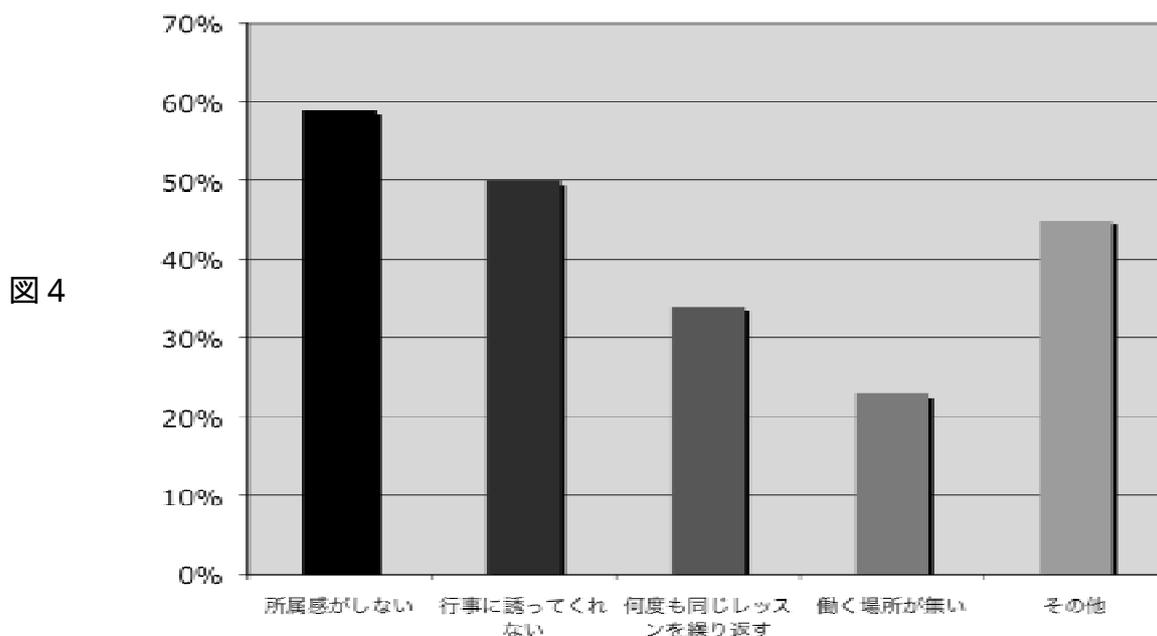


図 4

多数の学校で教える仕事のどこが難しいかとの質問に対して、回答者の59%は学校との所属感がない、50%は学校の行事に誘われない事が多い、34%は同じレッスンを何度も教える、23%は自分の机が無い、45%は「その他」と答えました。困難の話は以下の「ディスカッション」のところで続きます。

## 分析

このアンケートで少数学校 ALT と多数学校 ALT との答えを比較し分析することが出来ます。分析は幾つかの目立つ点を明らかにしました。訪問する学校が5校以下のALTは契約時間外の学校に残る時間が比較的長いです。

似たような分析では、ベーススクールが有るか無いかで幾つかの興味深い点がありました。

	有り	無し
ほとんどの学校行事に参加する	82.9 %	39.4 %
多数学校 ALT であるのが好き	53.0 %	43.0 %

ベーススクールのない回答者は色んな困難がありました。

	有り	無し
所属感がない	50.3 %	80.9 %
学校行事に誘われない	43.6 %	66.2 %
同じレッスンを何度も使う	30.1 %	44.1 %
自分の机か働く場所が無い	20.2 %	30.9 %

ベーススクールのある ALT は比較的満足度が高い、そして所属感がついです。ALTが満足していれば、学校や地域での活躍が多くなるでしょう。

上の図にあった答え意外の回答もありました。なかには、「関係を築くのは難しい」、「コミュニケーションの困難」などがありました。それらの回答をまとめました。

自由問題に 103 の回答がありました。26通の回答者は「生徒との関係を深めるのはそもそも難しい」と答えました。

20名の回答者は「ある学校に行く頻度が低すぎる」などと答えました。

“生徒のことを知るのには難しいです。だからどれほど英語を習得しているかを評価しにくいです。ある生徒にめったに会わない。ネイティブとの接触がないから英語が上達しないじゃないかと思います。”

多くの学校で違う仕事内容があるのと何百人（場合により数千人）の生徒に合った教育をすすめるのが難しいとの答えもありました。

アンケートに「数多くの学校で教える JET になる前に知りたかったことは何ですか」との質問がありました。162名の回答者のあいだで様々な回答がありました。以下のずでまとめました。

知りたかったこと	回答数
色んな学校でどういう風に期待されるか	29
時間割とその期待	25
教え方と授業の期待	23
教師と生徒の英語力	9
日本語能力の必要	5

授業中に困難となる点をまとめました。197の回答がありました。

困難となること	回答数
人間関係が築きにくい	67
英語の授業が少ない	31
生徒の英語力を知らない	17
学校訪問が少ない	16
予定が立てにくい	14

英語指導における最も多かった困難は「人間関係が築きにくい」ことでした。モチベーションを上げるのに、そして国際交流をするのに人間関係が必要不可欠だと考える ALT が多いです。

次の抜粋では、ALT が人間関係の築き方について2つ考えを提案しました。

“よく移動する先生には2つの役に立てる物があると便利でしょう。  
1) 生徒の机配置表と 2) 生徒の顔写真と名前が見える物です。使ってみて、これら両方とても役に立っています。”

「英語が話されている授業が少ない」は二番目に多かった回答です。英語を使わないと身に付かないとは言ってもないですが、英語を話す機会がめったにないです。



## プロジェクトとイベント

困難がある一方、色んなプロジェクトやイベントを計画する ALT は少なくありません。59名の回答者は計画したものについて説明してくれました。以下の文はそれらのイベントや授業などについてです。

祝日をテーマにしたパーティーは人気があるそうです。生徒と地域の人々を招待して行います。これは簡単ですが交流が出来て、人との絆を強くするチャンスです。外国の人々に合い、お互いの文化を知り、かなり楽しめます。

24名の回答者は多数のイベントに携わっているようです。JET プログラムの目標を達成するよう、一般仕事以上に活躍している JET もいます。次はその1名のコメントです。

“私の学校はアメリカにある日本語クラブのメンバー達に手紙を書きました。毎月、英語掲示板にクイズを貼って、答えてくれた生徒に賞品を贈ります。そして、英語のホリデー・パーティーを催します。”

同じ県の JET 達と一緒にイベントを計画する回答者のコメントが以下にあります。

「他の団体と連携して、映画祭を催します。JET 参加者と地域の人々が自分が作った映画を大会に出しています。映画祭で得たお金を 前もって決めたチャリティーに寄付します。・・・。美術を介して地域の人々との絆を強くするため、美術グループ“SouZou”設立しました。毎年行う予定で今年第二回のアートショーを迎えます。」

学校でのプロジェクトも様々でした。手が無を交換するプロジェクト、英語クラブ、国際デーなどありました。ある参加者の“English Pals”では、高校生が小学校へ行って、先輩が後輩に色々発表しました。

地域でのプロジェクトも色々ありました。大人英会話、クッキング・クラブを始めました。地元のテレビ番組の英語面接、街の観光スポットを英語と日本語のホームページの作成、地元の新聞に記事を投稿、イースター・エッグ・ハントを計画したなど様々イベントを計画しました。

計画するのに、先生なり友達なり本人なり日本語能力のある人のサポートが必要です。「プロジェクトを計画するのに一番障害となったことは何ですか」との質問に対し、「日本語能力が低い」(61.3%)がもっとも多かった回答です。自分の日本語能力を「上級」と評価した回答者の 88.1%がプロジェクトを計画した一方、「初級」の場合は 18.8%でした。これらの結果により、多くの学校で教える場合、日本語能力のある人を採用するよう勧めます。



## AJET の提案

契約団体とのコミュニケーション・関係に関する問題が多かったです。ですから、勧める行為はJET参加者自身が自分であることがほとんどです。AJET、CLAIR、三省の役割はこの役に立つ情報をJET参加者に知らせるべきです。今のGIHにこれに関する情報は少ないです。次の改訂版に載せると役に立つでしょう。AJETはこれからもホームページやネット掲示板でこの情報を広げ続けるつもりです。

問題の具体的な解決案を集めることを目的に、回答者にフォローアップとして、回答者に質問を3つ尋ねました。多数の学校で教えるALTに関して

1. どうやって困難を乗り越えたか？
2. いい計画を立てる人になるのにどうすればいいか？
3. 東京オリエンテーションのワークショップに何を含めるべきか？

## コミュニケーション

- 前もって打ち合せ。学校を訪問する前に打ち合わせをすると便利です。可能なら実際に会って行るのが一番望ましい。期待とレスンプランについて話すためです。契約出勤時間にこういった打ち合わせをしてもいいことを学校に知らせるべきです。
- 評価の統一。学校のニーズや期待をよく分かるよう評価が必要です。一案は、各学校で同じ評価書類で評価してもらうことでした。評価した後担当者に渡します。
- 日本語の勉強。残念なことに、英語を話せる人のいない学校もあります。多数の学校で教えるJETは特に勉強する必要があることを、東京オリエンテーションではっきり説明する必要があります。
- 担当者の為の“JET Life”。全ての契約団体はGIHをもらっているにもかかわらず、ALTを十分に活かす方法を知らない契約団体もある。新規契約者に情報を大量に提供していますが、担当者や契約団体の場合は少ないです。CLAIRとAJETが協力すれば、ALTの評価・活かし方などについてのDVDを作ると役に立つでしょう。
- AJET・オンライン・コミュニティー。レスン・アクティビティ・役に立つ情報を交換する場を作れば、前任者から情報をもらえなかった場合、他の現在参加者からもらえる役割を果たします。



## プロジェクトを始める

- 英語の存在を作る。各学校に生徒がよく集まる場所に英語掲示板をあげるの  
は一案です。見た目がきれいで、簡単な発表・ゲームと ALT の情報を載せる  
と好評になるでしょう。他のプロジェクトの呼び水となるかもしれません。
- 関係を築く。自分のプロジェクトをするとき、他の学校行事の準備に参加す  
るのは大切です。こうすれば段取りの決め方を覚えるし先生との関係もよく  
なります。関係が良ければ、新しい考え提案しやすくなります。
- 英語教師の手伝い。計画と実行の指導を役に立つよう求めると便利です。
- 広告。新しいプロジェクトが実現する前、なるべく多くの方法で（会議で知  
らせる、ポスターを貼る、等）積極的に人伝えるといいです。

## ワークショップ

2009年の東京オリエンテーションで「多数学校訪問のJET」という新しいワー  
クショップを開きます。学校のたくさんある新規JETを対象に、十分活躍するよう  
様々な情報・アイデアを発表する予定です。内容の全てはALTが現場で試したアイ  
デアから集めます。以下はそのワークショップの発表内容です。

- 出席者に、各学校の必要な情報（電話番号、住所、授業数、生徒数、等）を  
最初の数週間に記入する書類を渡します。オリエンテーションで紙を渡し、  
その後AJET.netで電子ファイルを提供します。
- 日本語を勉強する必要を改めて強調します。
- 新しい考え・変更を受け入れやすい心の必要を強調します。
- 生徒との関係の築き方。英語掲示板、英語ランチなどのプロジェクトを紹介  
します。
- レッスンプランの立て方について
  - 役に立つ資料（ホームページ、YouTube、教科書）の取得
  - 生徒のニーズに応えるレッスンの進め方
  - 生徒が参加したくなる授業の行い方
  - 同じレッスンをたくさん使っても飽きない方法
  - 自分のレッスンを集めたバインダーの作り方

## まとめ

ALTの学校数は増えつつあります。5校はもちろん、20校以上で教えるALTもいま  
す。多数の学校で教えることで様々な困難があります。今まで提供していた資料は、

*ALTs Visiting Multiple Schools*  
*多数学校のJET*



多数の学校で教える JET 参加者の必要に応えません。これは参加者と契約団体とのあいだで誤解や問題を起こします。しかし、AJET の提案と新しいワークショップは、満足度の上昇、プロジェクト計画サポートシステム、そして全般の有効性に貢献すると言えよう。



## 質問

1. 文部科学所と CLAIR は、数多くの学校で教える ALT 向けの資料を作る予定ですか。
2. 決まった引き継ぎ手続きがあれば、この報告にある困難が少なくなると AJET は考えています。前の意見交換会のフォローアップですが、引き継ぎの統一に関して何をしましたか。昨年 11 月の意見交換会以降、引き継ぎ者の仕事内容を知らせるのに役立つ資料か情報を PA に渡しましたか。
3. 多数の学校で教える ALT の役に立つために、東京オリエンテーションとその後のワークショップをどのように変えていますか？
4. 担当者と契約団体マニュアルに、多数の学校で教える ALT に関する情報がありますか。
5. 外務省・総務省・文部科学省・CLAIR のほうでは、AJET の新しいワークショップ含めてほしい内容、提案したいことがありますか。